

今季のスギ花粉情報 (3/6/2013)

(第8報)

身近な自然とともに

東京のスギ花粉飛散開始日は2月14日で、21～23日と花粉飛散が続き 春一番となった3月1日には、379個/cm²の多い飛散があり（西東京市：兼子先生提供）、一気に花粉症の患者さんが多くなりました。スギ花粉の本格飛散シーズンです。最低気温が5℃以上となり、**日中の気温が上がりこれから大量飛散が予想されます。十分な花粉対策が必要です。**



杉並区定点1観察の写真に関し、当敷地の執行部およびスタッフ方々の御協力により提供しております。

**本格飛散時期です。
マスク着用を。**



杉並区定点1:観察(3/6/2013 11:AM)
大量飛散になってもよい状況です。

朝は1℃、11時には10℃を越え、西北の風下で撮影中目がかゆくなり、流涙が生じました。マスクで鼻症状は助かりました。**明日から最低気温も上がり要注意です。**

PM2.5 (Particulate Matter)はスギ花粉を破壊するという説もあります。

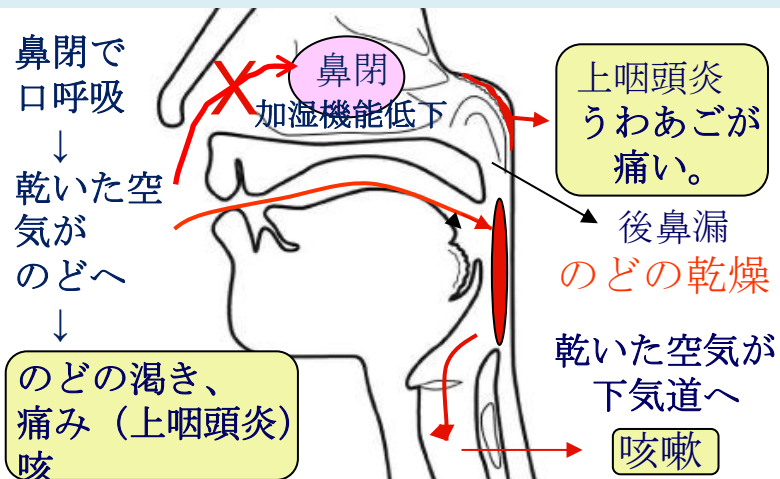
善福寺公園では早咲きの桜が咲きました。中国の大気汚染による重篤なカリンの芽も春へ(定点1構内) (3/6/2013) 影響が生じないことを願います。

兼子先生提供 3月1日:379, 2日:167, 4日:25, 5日:66個/cm²でした。



擤鼻による耳症状も生じています。鼻をかむ時、力一杯かむのは避けたほうが好ましいです。特に緩い耳管の方は注意してください。

アレルギー発作により鼻の加湿機能が低下し、潤った状態とならず、乾燥した空気が上気道、下気道へ。



OO JOHNS 2007より

(OOOO耳鼻咽喉科 3/6/2013)